2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社マーキュリアホールディングス　　上場取引所　　東
コード番号　　7347　　ＵＲＬ　https://www.mercuria.jp
代表者　　（役職名）代表取締役　　（氏名）豊島　俊弘
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 経営管理統括　　（氏名）滝川　祐介　　ＴＥＬ　03－3500－9870

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満四捨五入）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,973	7.5	2,727	15.2	309	207.3	364	422.2	332	719.5
2025年12月期第３四半期	2,765	△25.1	2,368	△28.4	101	△86.7	70	△91.2	40	△91.5

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△80百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　△712百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	17.14	－
2025年12月期第３四半期	2.09	－

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	22,112	18,674	78.5
2025年12月期	23,469	19,205	76.6

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　17,350百万円　2025年12月期　17,984百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	22.00	22.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				22.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	△30.7	4,900	△27.3	1,500	△40.4	1,500	△41.3	1,000	△40.6	51.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）、除外　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	21,549,900株	2025年12月期	21,549,900株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	2,201,777株	2025年12月期	2,201,777株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	19,348,123株	2025年12月期３Ｑ	19,348,123株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではございません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、２頁「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

※　対前年同四半期比について、当期・前期の一方若しくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「ー」を記載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
（収益認識関係） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、所得・雇用関係の改善、実質賃金の上昇、日経平均株価が過去最高値を更新するなど、国内経済は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、物価やエネルギー価格上昇による個人消費への影響が国内景気の下押し要因となっていること、世界経済においても中東情勢をはじめとする地政学リスクの継続や資源価格の高騰、米国の金融政策による影響が懸念されるなど、全体としては依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下で、当社グループでは中長期的な成長を目指し、既存ファンドにおいて、子会社である株式会社マーキュリアインベストメントが管理運営を行う株式会社日本政策投資銀行及び三井住友信託銀行を中心に組成した「マーキュリア日本産業成長支援投資事業有限責任組合（以下、バイアウト1号ファンド）」において、バイアウト1号ファンドからの成功報酬及びセイムボート投資を通じたファンド投資持分利益を計上しました。成長投資においては、「マーキュリア・サプライチェーン投資事業有限責任組合」において事業会社へ新たな投資を行うとともに、最終クローズを完了いたしました。また、航空機投資分野においては、戦略パートナーであるAirborne Capital Limitedと共に、新たにオープンエンド型の航空機ファンドを共同で設立し、初回クローズ完了後、ユナイテッド社向けの航空機機体の引き渡しを行い、同社と長期リース契約を締結しました。企画事業分野においては、中小企業の経営支援プロジェクトの一環として、株式会社髙島屋と共に国内中小企業が有する伝統・技術を守り、文化・歴史を未来につなぐ「百年のれんプロジェクト」を発足いたしました。

自己投資事業においては、当社グループの子会社であるMercuria (Thailand) Co., Ltd.及びMercuria (Vietnam) Co., Ltd.が共同で、ベトナム不動産デベロッパーのBcons Construction Investment Joint Stock Companyとの間でベトナム・ホーチミン市における分譲マンション開発プロジェクトへの参画に係る合弁契約を締結しました。

この結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,973,269千円（前年同期比7.5%増）、経常利益364,012千円（前年同期比422.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益331,718千円（前年同期比719.5%増）となりました。対前年同期比では、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が大幅に増加しておりますが、これは主に、上述した成功報酬の計上及びファンド投資持分利益の計上による営業収益の増加に加え、営業原価が減少した事によるものであります。

なお、当社グループは投資運用事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,356,721千円減少して22,112,126千円となりました。これは主に、営業投資有価証券が567,950千円、関係会社短期貸付金が318,080千円増加した一方で、現金及び預金が2,698,768千円減少したことによるものであります。

負債総額は、前連結会計年度末と比較して825,076千円減少して3,438,427千円となりました。これは主に、短期借入金が383,495千円、前受収益が326,455千円増加した一方で、未払金が910,819千円、未払法人税等が726,066千円減少したことによるものであります。

純資産額は、前連結会計年度末と比較して531,645千円減少して18,673,699千円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が520,432千円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2026年２月12日に公表した通期業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,232,547	2,533,779
営業未収入金	588,732	726,251
営業投資有価証券	15,037,332	15,605,283
営業貸付金	812,018	983,289
関係会社短期貸付金	587,500	905,580
立替金	80,180	50,816
その他	123,285	457,185
貸倒引当金	－	△364,125
流動資産合計	22,461,594	20,898,057
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	199,113	188,145
工具、器具及び備品（純額）	15,074	10,391
有形固定資産合計	214,187	198,536
無形固定資産		
ソフトウエア	786	597
無形固定資産合計	786	597
投資その他の資産		
投資有価証券	296,310	340,049
敷金及び保証金	88,697	130,668
繰延税金資産	396,108	534,113
その他	11,165	10,106
投資その他の資産合計	792,280	1,014,936
固定資産合計	1,007,253	1,214,068
資産合計	23,468,847	22,112,126
負債の部		
流動負債		
短期借入金	684,500	1,067,995
未払金	916,976	6,157
未払費用	235,655	101,534
未払消費税等	131,322	373
未払法人税等	832,929	106,863
前受収益	4,016	330,471
返金負債	－	149,122
賞与引当金	－	235,196
その他	75,962	108,239
流動負債合計	2,881,361	2,105,950
固定負債		
役員退職慰労引当金	99,000	99,000
役員株式報酬引当金	232,794	248,669
従業員株式報酬引当金	42,500	48,125
役員賞与引当金	334,510	334,510
退職給付に係る負債	247,951	309,982
長期未払金	70,000	70,000
長期預り金	19,602	19,602
繰延税金負債	218,467	108,994
その他	117,316	93,594
固定負債合計	1,382,141	1,332,476
負債合計	4,263,503	3,438,427

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,073,650	4,073,650
資本剰余金	4,422,648	4,422,648
利益剰余金	10,722,566	10,617,729
自己株式	△1,634,759	△1,634,759
株主資本合計	17,584,105	17,479,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△229,607	△750,039
為替換算調整勘定	629,917	620,621
その他の包括利益累計額合計	400,310	△129,418
非支配株主持分	1,220,929	1,323,849
純資産合計	19,205,344	18,673,699
負債純資産合計	23,468,847	22,112,126

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
営業収益	2,764,687	2,973,269
営業原価	396,670	246,391
営業総利益	2,368,017	2,726,878
販売費及び一般管理費	2,267,408	2,417,752
営業利益	100,608	309,125
営業外収益		
受取利息	7,439	27,476
受取配当金	14,522	14,265
為替差益	－	1,754
賃貸料収入	645	976
持分法による投資利益	17,566	23,086
その他	3,523	2,547
営業外収益合計	43,695	70,105
営業外費用		
支払利息	5,253	13,800
為替差損	68,673	－
その他	667	1,418
営業外費用合計	74,593	15,218
経常利益	69,711	364,012
特別利益		
新株予約権戻入益	29	－
特別利益合計	29	－
税金等調整前四半期純利益	69,740	364,012
法人税等	△33,420	△60,901
四半期純利益	103,160	424,913
非支配株主に帰属する四半期純利益	62,684	93,195
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,476	331,718

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	103,160	424,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△466,601	△520,432
為替換算調整勘定	△345,973	39,844
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,330	△24,720
その他の包括利益合計	△814,904	△505,308
四半期包括利益	△711,744	△80,395
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△699,076	△198,010
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,668	117,615

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

税金費用の計算については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	56,816千円	65,389千円

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは投資運用事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（収益認識関係）

当社グループは、投資運用事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）				当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）			
	ファンド運用事業	自己投資事業	その他	合計	ファンド運用事業	自己投資事業	その他	合計
管理報酬	2,023,814	－	－	2,023,814	2,051,170	－	－	2,051,170
成功報酬	24,465	－	－	24,465	69,722	－	－	69,722
その他（※１）	－	－	234,856	234,856	－	－	330,594	330,594
顧客との契約から生じる収益	2,048,278	－	234,856	2,283,134	2,120,892	－	330,594	2,451,486
その他の収益（※２）	－	481,552	－	481,552	－	521,783	－	521,783
外部顧客への営業収益	2,048,278	481,552	234,856	2,764,687	2,120,892	521,783	330,594	2,973,269

（※１）コンサルティング収益が主なものであります。

（※２）その他の収益は、「収益認識に関する会計基準」の適用範囲外から生じた収益であります。